

平成20年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	Webなどの電子媒体環境を前提とする、グラフィックデザインを中心とした情報デザイン教育プログラムの開発		
法人名	学校法人 電子学園		
学校名	日本電子専門学校		
代表者	理事長 多 忠和	担当者 連絡先	広瀬 成次 電話 03-3369-9333

1. 事業の概要

インターネットの利用やパソコンの普及で高度情報化社会に突入したと言われて久しい。社会インフラとしてのネットワークはNGN(次世代ネットワーク)サービスの開始に伴い益々整備される状況にある。しかし、情報機器を使いこなす教育はなされてきたが、伝えたい事柄を、伝えたい相手に、如何に的確に、伝達するか、と言う教育(情報デザイン教育)が今後益々重要になる。今事業では、Web環境などの電子媒体環境を前提としたグラフィックデザイン教育プログラムの開発・実践を行う。業界ではかつての紙媒体主体のグラフィックデザインが電子媒体への活用に向かって広がり、相互が密接に関係してきているが、教育内容に反映できておらず、相互の新しい領域を教育に取り組む必要性が増してきている。情報をデザインする上で紙媒体にはない電子媒体の特性を捉えたデザイン教育の方向性と開発が求められている。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

- ・情報デザイン教育への関心が高く、広くその実態調査結果が得られた。
- ・Webなどの電子媒体環境を前提とする具体的な科目や教育内容に関する調査結果等が得られた。
- ・現在不足している学習内容、今後取り入れたい学習内容の具体的な調査結果等が得られた。
- ・新たなカリキュラム作成のための参考としての指導手引とカリキュラム(シラバス)がまとめられた。

②事業により得られた成果

- ・アンケート調査等により得られた結果の分析から、今後具体的に電子媒体環境を前提とする教育内容が得られた。
- ・実証講座(情報デザイン教育普及セミナー)のアンケート結果から、具体的に参考・活用できる「指導手引・カリキュラム」として評価された。

③今後の活用

- ・グラフィックデザイン関連学科やWebデザイン関連学科のカリキュラム作成の参考として活用できる。
- ・情報デザインの教育内容や実施体制を考える上での参考として活用できる。

④次年度以降における課題・展開

- ・情報デザイン教育はグラフィックデザインやWebデザインだけではない。広くどの教育にも、またどの業界にも関わってくる内容(問題発見・情報収集・情報分析・編集・表現・コミュニケーション・評価等)である。
- ・そのため次年度以降、広く学校教育関係や企業等に対して、教育内容、ビジネスへの展開等を調査し、情報デザイン教育の質の向上と、生きる力の一つとしてその必要性を普及推進する。

3. 事業の実施に関する項目

①ニーズ調査等

- ・調査のねらい:(1)高等学校における専門教科情報「コンピュータデザイン」の科目名が「情報デザイン」に変わろうとしている。高等学校における現状と今後の方向性をの調査を実施。(2)専修学校においてはかつての紙媒体を中心としたグラフィックデザイン教育がICT環境の中で変質してきている。専修学校における現状と方向性の調査を実施。(3)四短大においては近年情報デザイン学部、情報デザイン学科、情報デザインコース等の新設、科名変更が盛んに行われている。四短大における現状と方向性の調査を実施。(4)デザイン業界においては技術変化に対応した制作手法の見直しが叫ばれている。業界の方向性の調査を実施。
- ・調査項目:情報デザイン教育に関する事態調査とグラフィックデザイン及びWebデザイン関連学科の教育内容の実態調査。
- ・調査対象:(1)は実業高校、総合高校、(2)はコンピュータ系専門学校、デザイン系専門学校、(3)は全ての四短大。これら既存取組校に新規取組意向層(潜在層)も加え、高校・専門学校・大学で2,861校を対象として調査を実施。(4)は広告代理店などの業界企業5社程度へのヒアリング調査を実施。
- ・実施方法:(1), (2), (3)については郵送によるアンケートによるサンプリング調査。(4)については面接調査を実施。
- ・調査結果及び分析の内容:調査結果を分析し、専修学校2ヶ年の情報デザイン教育カリキュラム試案作成の検討材料とする。

②カリキュラムの開発

- ・テーマ:Webなどの電子媒体環境を前提とする、グラフィックデザインを中心とした情報デザイン教育プログラムの開発
- ・開発経緯:調査委員会と協力してアンケート調査を実施、アンケート内容の分析(学校種別・学科種別・地域別・業種と職種別)編集、収集したシラバスの平均化等
- ・対象:全国の大学、短大、専門学校、高等学校
- ・開発内容:電子媒体を視野に入れた参考カリキュラム、業種と職種からみた参考カリキュラム、グラフィックデザイン関連学科の教科目と参考シラバスの開発

③実証講座

- ・テーマ:情報デザイン教育普及セミナー
- ・期間:平成20年12月9日、平成21年1月21日の2回
- ・受講者の属性:大学、短大、専門学校、高等学校の情報教育に携わる教員等
- ・受講者数:115校
- ・場所:アルカディア市ヶ谷
- ・受講者の反応:参考になった、活用したい等の好評を得る

④その他

- ・事業の特色:情報デザインという言葉は日本に入ってきてまだ10年ほどと日が浅い。今回の調査は初めてといていいほど幅広くデータ収集でき、その結果がまとめられた。その意味でも情報デザイン教育がまだ始まったばかりであるこの時期に今回の調査結果とカリキュラムの開発は活用効果が高いと思われる。
- ・事業実施にあたり工夫した点:財団法人専修学校教育振興会の実施する「情報教育指導者研修会」と「情報デザイン試験」との協力で、より密度のある研究が可能となった。